

# 今こそ、目と心で語り合おう ～親子で向き合うネット社会～



## 長野県 P T A 新聞

子どものインターネット利用に関するアンケート		
質問	回答	
①お父さんは電子メディア機器を利用していますか	はい 91%	いいえ 9%
②それらの機器でインターネットを利用していますか	はい 89%	いいえ 11%
③お父さんがインターネットを利用する上で心配なことは何ですか	・利用時間が長い ・有害サイトへのアクセス ・家庭学習の時間の減少 など	
④お父さんにメディア機器を利用させていない方、その理由は何ですか	・コミュニケーション能力の低下 ・社会適応力が育たない ・実際に対面しての遊びや人間関係を持ってほしい ・トラブルになったときに親自身が対応できない ・勉強の妨げになる ・対面での会話が少なくなる	
⑤お父さんのインターネット利用について、ご家庭で何らかのルールや約束事がありますか	はい 99%	いいえ 1%
⑥ルールや約束事はどのようにして決めましたか	親が決めた・・・43% 親と子で話し合った・・・46% 子どもが決めた・・・0% その他・・・11%	
⑦お父さんが約束を守れなかったときはどうしていますか	・注意する ・機器を取り上げる ・約束を見直す ・ネットの危険性を話す	
⑧⑦での対応後のお父さんの反応をお聞かせください	・ふてくされる ・文句を言う ・注意をしても続ける ・怒る、キレる ・素直に聞く ・約束を守るようになった	

**アンケート結果から考える親子関係**

現在、子どもを取り巻く環境にインターネットは欠かせなくなっている。便利な一方、誘拐やいじめ、ネット依存などの深刻な状況が指摘されている。小中学生をもつ親としてどのように対処していったらよいかを考え、進学・進級を前にインターネットの利用について、改めて子どもと話し合ってみよう。

おり、その際に約束事があるということが分かった。約束事は親が決めたという家庭と親子で話し合った家庭と割合がほぼ同じだった。約束が守れなかったときは注意するだけでなく、その約束を見直すなど、親子で話し合う姿が見られる。

親の対応に対する子どもの反応では「ふてくされる」「文句を言う」の他に「素直に聞く」や「約束を守るようになった」という回答もあった。

また、③の回答からは不安を抱えながらネットを利用させている親の姿がうかがえる。

アンケート結果を踏まえ、約束事を中心とした子どもとの向き合い方について、情報モラル教育に詳しい南澤信之先生に伺った。

発行  
長野県PTA連合会  
長野市旭町1098信濃教育会館内  
TEL 026-235-4361  
発行者/大島 修  
編集者/堀 紀美子

ホームページ  
<http://www.pta-naganoken.net>



### セーフティネット総合研究所 代表理事 博士(学術) 南澤信之先生のお話から

◆約束を守るようにサポートするポイント

- ①声のかけ方として「もう時間だからやめなさい」
- ②「7時からご飯よ」のように、次の予定の開始時刻を伝える。
- ③個人的な感情は書き込まない。
- ④「明日の集合時間は9時だよ」という後に「〇ちゃんて」というようなことが書かれていても「分かった。明日の集合は9時だね」と本来の目的に沿ったコミュニケーションをとる。
- ⑤就寝時は家族全員が機器を一室に置いていく。
- ⑥ネットを利用した時間と同じだけ、家族と顔をみて会話をするように心がける。

◆約束作りに必要なこと

約束というよりも「契約」という表現を用いて、契約書を作成すること。ネット依存の傾向がある子どもに対しては、親が子どもの考えを聴くだけでは不十分。保護者としての意見をはっきりと伝えることが大事である。毅然とした態度が子どもとの信頼関係を育む。



◆様々な考え方や価値観に触れよう

自分と他の人は感じ方が違い、とらえ方は様々だということを理解することが必要だ。相手の立場になって考える力が欠如している、いじめにつながる書き込みをしやすい。

普段の生活の中でより多くの人と目を見て会話をし、様々な考え方や価値観に触れることが大切

◆子どもの目を見て聴く

子どもは自分の考えや意見について共感・承認・肯定してくれる存在を求めている。身近な人からそれらを感じられないと、SNSを活用する傾向が見られる。

日頃からコミュニケーションをとっているつもりでも、親が何かをしなから話を聞くようだと子どもとの関係はつづけられない。親は信頼関係があると思っても、子どもはそうでもないというギャップが生まれてしまうことになる。

- 全国表彰・PTA三行詩コンクール……………2
- 長野県教育委員会との懇談会……………3
- 研究委嘱PTA実践報告……………3
- 単位PTA訪問「北から南から」……………4

◆進化する情報機器や危険が潜んでいるSNSと子どもたちが上手に付き合っていくために大切なことは何だろうか。私は子どもにも、画面での感覚的な間接体験よりも、出来る限り五感で感じる実体験をさせたいと願っている。子どもの頃の感動体験が、その後の人生にどのような影響を及ぼすと言われているからである。

近所に夢に向かって主体的に学んでいる高校生がいる。彼女は幼少の頃から自然の中でたくさん遊び、自然の中で考えることが得意であった。木登りや川遊び、川で遊んだり、危険と背中合わせの遊びもあった。彼女の母親は、何事も経験が大切だと考え、せっかくの学びの機会を奪わないよう、いつも見守っていた。

そして、彼女は自然と触れ合う中で素晴らしい想像力と発想力を培い、更に計画性や問題解決力も育んできた。現在ではまさに逞しく生き抜く力を備えている。

ところが、今では外遊びをする子どもを見かけない。屋外が安全な環境ではないことも一因であろう。

自然の中でたくさんの感動体験をすることや体を動かしてエネルギーを発散させることで、子どもたちの心はより豊かに育まれていく。

進化し続ける情報社会の中で安心して生きていくために、子どもたちは実体験を重ね、人間性を磨くことがまずは大切である。親として心掛けていきたい。

(M.S)

進化する情報機器や危険が潜んでいるSNSと子どもたちが上手に付き合っていくために大切なことは何だろうか。私は子どもにも、画面での感覚的な間接体験よりも、出来る限り五感で感じる実体験をさせたいと願っている。子どもの頃の感動体験が、その後の人生にどのような影響を及ぼすと言われているからである。

近所に夢に向かって主体的に学んでいる高校生がいる。彼女は幼少の頃から自然の中でたくさん遊び、自然の中で考えることが得意であった。木登りや川遊び、川で遊んだり、危険と背中合わせの遊びもあった。彼女の母親は、何事も経験が大切だと考え、せっかくの学びの機会を奪わないよう、いつも見守っていた。

そして、彼女は自然と触れ合う中で素晴らしい想像力と発想力を培い、更に計画性や問題解決力も育んできた。現在ではまさに逞しく生き抜く力を備えている。

ところが、今では外遊びをする子どもを見かけない。屋外が安全な環境ではないことも一因であろう。

自然の中でたくさんの感動体験をすることや体を動かしてエネルギーを発散させることで、子どもたちの心はより豊かに育まれていく。

進化し続ける情報社会の中で安心して生きていくために、子どもたちは実体験を重ね、人間性を磨くことがまずは大切である。親として心掛けていきたい。

(M.S)



## 1月にレモン色の封筒に入ったご案内を各学校に配布させていただきます。 PTA小・中学生総合補償制度

- ケがをした** 通院1日目から補償 ※1プランは交通事故等のみ
- ケがさせた** 自転車や歩行者と衝突した ※全プラン
- 物をこぼした** 友達の物をこぼした ※全プラン
- 病気で入院した** 日帰り入院から補償 ※1プランのみ

4月1日補償開始の申込締切は3月25日です！  
詳しくは学校で配布されたレモン色の封筒の中のパンフレットをご覧ください。

○本制度は「長野県自転車の安全で快適な利用に関する条例」に対応した制度となっております。  
○全プランに日常生活個人賠償責任補償特約(示談交渉サービス付)が付帯されています。  
○個別加入に比べて保険料は約56%割安です。(注)  
(注)この制度の被保険者数と保険金のお支払い状況によっては、今後変更となる場合があります。  
**自転車事故でも高額な損害賠償金を請求される場合があります。**  
引受保険会社: 共栄火災海上保険株式会社 〇お問い合わせ: 小・中学生総合補償制度担当係  
電話: 026(234)2180

	申込締切日(消印有効)
4月1日補償開始	3月25日
5月1日補償開始	4月24日
6月1日補償開始	5月25日

承認番号: B19-2055-20210124



# 全国表彰

令和元年度の全国表彰において、本県からは5団体と4名が表彰の栄を受けた。以下に受賞団体と受賞者を紹介する。(敬称略)

## ◇日本PTA全国協議会会長表彰

(団体)

- ・飯島町立七久保小学校PTA
- ・青木村立青木中学校PTA

(個人)

- ・古畑 俊明 (平成30年度副会長)
- ・塚田 英一 (平成30年度副会長)
- ・駒場 豊 (平成30年度副会長)
- ・川口 彰 (平成30年度副会長)

## ◇優良PTA文部科学大臣表彰

(団体)

- ・上田市立東小学校PTA
- ・豊丘村立豊丘南小学校PTA
- ・長野県稲荷山養護学校PTA



東京都内の表彰式にて(11月15日)

全国表彰は、PTAにおける活動が社会教育の発展に貢献した団体・個人に対して行われるもので、教育の向上と文化の振興に寄与することを目的としている。

## 文部科学大臣表彰(団体)

毎年PTA活動を見直しながら、会員の負担となる業務を削減し、PTA運営の効率化を図ってきた。通学範囲が広域のため地域団体との連携をとることは難しいが、それを補うために毎年全保護者に学校への要望や地域の福祉行政に対するアンケートを実施し、その結果を保護者に周知している。

平成24年度には、全国団体不自由特別支援学校PTA連合会およびPTA・校長会合同研究大会を主管校として開催した。また、平成29年度には、長野県養護学校PTA連合会事務局校として、子どもたちの今と未来とを見据えたPTA活動のあり方を発信した。

## 飯島町立七久保小学校PTA

### 育成会と連携したPTA活動のより良いあり方

地域の育成会では、家庭数・児童数の減少により、活動の維持や育成会指導員の確保が難しくなりつつある。そこで、保護者や育成会指導員の負担を軽減し、充実した活動を進めるため、育成会とPTA活動がどのように連携していったらよいかを考えた。

まずは、育成会指導員の選出方法を情報収集や話し合いを経て変更。PTA地区会長が次年度に務め、任期を1年間とした。「子どもカーニバル」ではなく「ほのぼの」では、手作り子ども神輿の練り歩き等の支援をPTAと育成会が一緒に行う。



また、毎年作り替えていた子ども神輿も破損箇所の修理だけを行い、3年間使用することにした。

こうして、PTAと連携することにより、育成会指導員の新たな人材が確保できた。限られた人数の中で、誰もが取り組める活動を続けるためには、活動内容を精選すること、地域の持続可能な組織作りが進むと考えられる。

## 日本PTA全国協議会会長表彰(団体)

## 青木村立青木中学校PTA

### 子どもの自尊感情を育てよう



子どもが自尊感情を伸ばす場面や、褒め方、叱り方のポイントを提言としてまとめ、「子育てフォーラム青木」で報告した。家庭でも取り組んでほしい子どもへの声かけ方や自尊感情の育み方について具体的な提言を行った。

また、生徒へのアンケート結果から「親や教師に誉められる」「自尊心が育つ」とは単純にはいえないことが分かった。自尊感情は短期間で育つものではないため、積み重ねて保護者には自尊感情を育てることに関する内容、生徒には自分の好きなところ等について、それぞれアンケートを実施した。それを

## 第10回長野県PTA三行詩コンクール入賞作品

応募作品は、4772点。この中から最優秀賞・優秀賞・優良賞を紹介する。(敬称略)

### ★最優秀賞 (長野県PTA連合会長賞)

おかあさん いつもはしっこ食べている「メロン」「お肉」「たまごやき」

坂本 菜摘 (筑摩小4年)

### ★優秀賞 (信州教育の日実行委員会会長賞)

悩んだとき 勇気を出せるおまじない「絶対に上手いくから 大丈夫」

横内 柚樹 (開成中2年)

### ★優良賞

遠足日和の晴天に  
我が子の笑顔 重ねつつ  
同じおかずの 昼休み

森 祐紀子 (水明小保護者)

## 第67回 日本PTA全国研究大会 ~兵庫大会~



1日目の第2分科会では「地域とともに育み次世代へ」をテーマに、学校教育と子どもたちのためにPTAが担う役割とはをテーマに、東京大学大学院教授の藤村宣之氏の基調講演が行われた。運営責任者を長野県PTA連合会の大島会長が務めた。

2日目の全体会では、メンタリストDaiGo氏による「子育ては、心理学でラクになる」と題した記念講演が行われ、明快な語り口と論理展開に熱心に聞き入った。大会スローガンである「つなげよう『いのち』のパトン」次世代を生き抜く子どもたちへ地域とともに育む力」を長野県PTAでも育み、研究の成果を単位PTAにも広めていきたい。

### ★優良賞

#### 〈小学生の部〉

- 伊藤 璃咲 (箕輪西小5年)
- 坂内 七夕華 (戸倉小6年)
- 大西 李和 (開智小6年)
- 澤野 秀明 (清水小6年)

#### 〈中学生の部〉

- 森本 結月 (中川中1年)
- 今井 翔介 (岡谷東部中2年)
- 宮内 祐歌 (緑ヶ丘中2年)
- 小林 里朱 (南宮中3年)

#### 〈一般の部〉

- 倉沢 佳周 (豊殿小保護者)
- 唐澤 圭子 (箕輪西小保護者)
- 下平 幸子 (中川中保護者)
- 野平 さゆり (松川中保護者)

### 講評

- ①具体的な場面や当人の表情が目に浮かぶ作品に心が動いた。
- ②作品作りが何気ない日常を立ち止まらせ、親・家族との関係について考える機会となっている。
- ③言葉のリズムが自然に生まれ、説得力がある。
- ④「ありがとう」「感謝」「信頼」「絆」などの言葉を使わず、具体的な姿を詩が生き生きと表れている。



僕たち! 私たち! がつくっています!

# 信州の牛乳を飲もう!

長野県生乳生産販売委員会  
信州 JA全農長野  
長野県牛乳普及協会

毎年開催の料理コンクール受賞作品のレシピ等ご覧いただけます。

やっぱ信州の牛乳でしょ



# 長野県教育委員会と 県PTA連合会との教育懇談会

## ～教育への理解を深め、子どもたちの学びを支え合おう～



11月12日に信濃教育会館において、長野県教育委員会から9名、長野県PTA連合会から42名が出席し、教育懇談会が行われた。3つのテーマについて県Pから様々な意見・要望が出され、それに答える形で県教委より現在抱える課題などについて説明がなされた。子どもインターネットやソーシャルメディアの利用についてなど、保護者を悩ます課題では双方の熱い思いが交わされた。その一部を報告する。

### 1 ソーシャルメディアの利用・活用方法

県P 家庭で指導すべき点はどのようなか？  
 県教委 毎年実施している「インターネット」についてのアンケートの結果から、長時間使用や低年齢化、ネット依存の傾向などの課題が浮き彫りとなっている。他の調査でも「知らない人とのやり取りで不安になった」「お金がかかるのか心配になった」などの子どもが報告されている。

「ご家庭ではこれらの実態を認識したうえで、子どもの様子を見て話を聞いていただく」とともに、使用についてのルールづくりをお願いしたい。

また、昨今はソーシャルメディアの活用が不可欠であり、県教委では民間団体等と連携し、子どもと保護者の皆さんが一緒に考える機会づくりを今後検討していきたいと考えている。

県P ゲームが守り代わりの家庭もある。ルールづくりだけでは解決できないのではないか。

県教委 ゲームは夢中になるように作られている。子どもたちがやめられないのは当たり前だということも前提として考えなくてはならない。ゲーム以外に楽しみや喜びを見出す子どもはゲームに制限をかけられるが、ゲーム依存になる子どもたちはそういう環境に置

### 2 新学習指導要領の実施による新たな教育の方向性

県P 新学習指導要領の完全実施によって学校教育がどのように変わるのか？  
 県教委 新学習指導要領は、どのように学ぶか、それによって何が出来るようになるのか、ということまで踏み込んで作られた。そこが一番大きな改革である。学校現場では、知識・技能の習得のみでなく、それを活用する思考力・判断力・表現力の育成がより一層重視される。そのための授業改善の視点が、主体的・対話的で深い学びであり、すべての学校、すべての授業でその実現を目指していく。

「主体的」とは子どもが粘り強く学びに向かう姿、「対話的」とは話し合いにより自分の考えが広がったり深まったりする学びだと考えている。「深い学び」とは知識を暗記するだけでなく、他と関連付けたり実際に体験したりする学びとして

また「社会に開かれた教育課程」を重視しており、各学校の目指す授業や教育課程について、家

### 3 長期休みの延長や部活動時間の短縮

県P 今年度の夏休みの延長の効果や影響、今後の方向性は？  
 県教委 「夏休み期間のあり方検討委員会」では、夏休みの日数を段階的に一定程度延長するという方向を打ち出し、今年度は小学校で1.2日、中学校で1.8日夏休みが長くなった。各学校で家庭訪問や職場体験学習を夏休み中に位置付ける等の工夫をした結果、今年度の年間授業時数は標準授業時数をすべての学校で上回っている。

夏休みが長くなったことにより暑い中での授業を避けることができ、子どもへの体面や学習への集中の面で良い効果があったという声もある。お盆休みから始業式まで時間がもたせると同時に市町村主催の研修を位置付けることもできた。長野県は春休みが長いこともあり、卒業式後に授業日を位置付けるなどの取り組みを紹介し、市町村や学校で更に検討を進めても

らうように考えている。

## 須坂市立常盤中学校PTA

### 「学校を支援するための、主体的なPTA活動をめざして」～インターネット・SNSをより良く利用するために～

PTA活動により多くの会員の参加を促していくため、保護者や生徒にも関心の高い情報社会との関わりを活動の柱とし、主体的なPTA活動を展開していきたいと考えている。

研究会内容  
 参観日に保護者参加型の授業を行うように依頼し、本校のインターネット利用のルールをもとに、生徒と保護者が一緒に現状や課題について話し合った。

研究会内容  
 参観日に保護者参加型の授業を行うように依頼し、本校のインターネット利用のルールをもとに、生徒と保護者が一緒に現状や課題について話し合った。

## 塩尻市立吉田小学校PTA

### 「吉田っ子」を地域とPTAで育てる～コミュニティ・スクール事業【夏ゼミ】を通じたPTAとしてのかかわり方～

吉田地区では、夏休みの子どもの居場所づくりとして、「夏ゼミ」というコミュニティ・スクールの2017年度に発足させた。しかし、協力した地域の方から、保護者の顔が見えないという声があり、PTAと地域とのかかわり方を考えることにした。

研究会内容  
 2018年度に夏ゼミ実行委員会へ初参加した

研究会内容  
 2018年度に夏ゼミ実行委員会へ初参加した

「我が家のルール」の設定をお願いしていく予定である。

研究会内容  
 参観日の授業を保護者参加型としたことや、学校祭で生徒と意見交換などを行ったこと、PTA活動に主体的に参加する保護者が増えた。これからは、活動の内容をテーマに据え、活動の工夫をしていきたい。

研究会内容  
 参観日に保護者参加型の授業を行うように依頼し、本校のインターネット利用のルールをもとに、生徒と保護者が一緒に現状や課題について話し合った。

研究会内容  
 参観日に保護者参加型の授業を行うように依頼し、本校のインターネット利用のルールをもとに、生徒と保護者が一緒に現状や課題について話し合った。

# 第28次研究委嘱 PTA実践報告

長野県PTA連合会では、PTA活動の充実と発展のために研究委嘱事業を実施している。県内4地区を代表する単位PTAの2年次研究の実践報告から、その一部を紹介する。

## 川上村立川上第二小学校PTA

### 父親の子どもとの関わり方～PTA活動への積極的な参画がもたらす効果と子どもたちへの影響～

研究会内容  
 ①児童には保護者がPTA活動をしてもらえることへの気持ち、父親にはこれまでの活動に関わった感想、母親には父親が参画してくれることへの思いなどについてアンケートを行いまとめた。

研究会内容  
 参観日に保護者参加型の授業を行うように依頼し、本校のインターネット利用のルールをもとに、生徒と保護者が一緒に現状や課題について話し合った。

研究会内容  
 参観日に保護者参加型の授業を行うように依頼し、本校のインターネット利用のルールをもとに、生徒と保護者が一緒に現状や課題について話し合った。

研究会内容  
 参観日に保護者参加型の授業を行うように依頼し、本校のインターネット利用のルールをもとに、生徒と保護者が一緒に現状や課題について話し合った。

## 下諏訪町立下諏訪社中学校PTA

### 災害発生時及び発生後における中学生の役割

研究会内容  
 ①各地区主催の防災訓練実施前に「社中を語る会」を開催した。自主防災組織役員や地域の方から聞き取りをし、災害時に考えられる課題を明確にした。

研究会内容  
 参観日に保護者参加型の授業を行うように依頼し、本校のインターネット利用のルールをもとに、生徒と保護者が一緒に現状や課題について話し合った。

研究会内容  
 参観日に保護者参加型の授業を行うように依頼し、本校のインターネット利用のルールをもとに、生徒と保護者が一緒に現状や課題について話し合った。

研究会内容  
 参観日に保護者参加型の授業を行うように依頼し、本校のインターネット利用のルールをもとに、生徒と保護者が一緒に現状や課題について話し合った。

研究会内容  
 参観日に保護者参加型の授業を行うように依頼し、本校のインターネット利用のルールをもとに、生徒と保護者が一緒に現状や課題について話し合った。

研究会内容  
 参観日に保護者参加型の授業を行うように依頼し、本校のインターネット利用のルールをもとに、生徒と保護者が一緒に現状や課題について話し合った。

研究会内容  
 参観日に保護者参加型の授業を行うように依頼し、本校のインターネット利用のルールをもとに、生徒と保護者が一緒に現状や課題について話し合った。

研究会内容  
 参観日に保護者参加型の授業を行うように依頼し、本校のインターネット利用のルールをもとに、生徒と保護者が一緒に現状や課題について話し合った。

研究会内容  
 参観日に保護者参加型の授業を行うように依頼し、本校のインターネット利用のルールをもとに、生徒と保護者が一緒に現状や課題について話し合った。

研究会内容  
 参観日に保護者参加型の授業を行うように依頼し、本校のインターネット利用のルールをもとに、生徒と保護者が一緒に現状や課題について話し合った。

研究会内容  
 参観日に保護者参加型の授業を行うように依頼し、本校のインターネット利用のルールをもとに、生徒と保護者が一緒に現状や課題について話し合った。

研究会内容  
 参観日に保護者参加型の授業を行うように依頼し、本校のインターネット利用のルールをもとに、生徒と保護者が一緒に現状や課題について話し合った。

研究会内容  
 参観日に保護者参加型の授業を行うように依頼し、本校のインターネット利用のルールをもとに、生徒と保護者が一緒に現状や課題について話し合った。

研究会内容  
 参観日に保護者参加型の授業を行うように依頼し、本校のインターネット利用のルールをもとに、生徒と保護者が一緒に現状や課題について話し合った。

研究会内容  
 参観日に保護者参加型の授業を行うように依頼し、本校のインターネット利用のルールをもとに、生徒と保護者が一緒に現状や課題について話し合った。



研究会内容  
 参観日に保護者参加型の授業を行うように依頼し、本校のインターネット利用のルールをもとに、生徒と保護者が一緒に現状や課題について話し合った。

研究会内容  
 参観日に保護者参加型の授業を行うように依頼し、本校のインターネット利用のルールをもとに、生徒と保護者が一緒に現状や課題について話し合った。

研究会内容  
 参観日に保護者参加型の授業を行うように依頼し、本校のインターネット利用のルールをもとに、生徒と保護者が一緒に現状や課題について話し合った。

研究会内容  
 参観日に保護者参加型の授業を行うように依頼し、本校のインターネット利用のルールをもとに、生徒と保護者が一緒に現状や課題について話し合った。

# すべては子どもたちのために



飯島町

い い し ま

## 飯島中学校

西に中央アルプスを仰ぎ、東には南アルプスを遠望する飯島町。地域に支えられ「ふるさと飯島に 思いを寄せ 未来を拓く生徒」の学校目標のもと、213名の生徒が自ら考え共に学び合う。「変化を前向きに受け止めよう!〜節目の年に〜」をスローガンに活発なPTA活動が行われている。

PTA進路指導部による 高校視察  
PTA進路指導部の主催で例年行っている「PTA高校視察」は、今年度の保護者が対象で1年生から参加できる。今年度は、松川高校・伊那弥生ケ丘高校・伊那西高校・上伊那農業高校を見学することにした。



上伊那農業高校視察

当日は、11名の保護者が参加し、進路担当の先生が引率してバスを貸し切り1日有意義な時間を過ごした。パンフレットなどの情報だけでなく、平日の授業や学校内の設備などを実際に見られるので、安心して進路を選ぶことが



おもてなしの心で除草作業

取材を終えて  
PTAに進路指導部が設置されていることや、中学校に同窓会があることは驚きである。自ら直談判してまで講演会を開催する努力を惜しまない塚本会長の言葉「すべては子どもたちのために」が、役員のかたがたの心に響き、地域との連携を強く感じていると感じた。



# 町全体の願いのもとに



飯綱町

さ み ず

## 三水小学校

飯縄山に抱かれた自然豊かなこの地に平成30年4月、三水第一・第二小学校が統合し、三水小学校が開校した。「自立して生きる力をもつ子ども」「コミュニケーション力と創造力のある子ども」「地域の発展を担う子ども」という飯綱町全体の願いのもとに183名の児童が学んでいる。



統合した三水小学校

円滑な統合  
「閉校から統合までの道筋をそれまでの役員の方々が作ってくれた。役員数や規則などは既に決まっていたため、新しく役員になった私たちは活

お父さんの会  
「お父さんの会」を今年度の5月、PTA会員同士の親睦とPTA作業の慰労を兼ねた「お父さんの会」が初めて開催された。



地域の方から楽しく学ぶ「いっぴなっこ」

地域の方と共に  
学校の敷地内には、歴史のある茶室「一言庵」がある。ここで毎年6年生は卒業間近に、他の学



お父さん大活躍のPTA作業

年にも年に一回、地域の「お茶の会」の先生より手ほどきを受ける。その他に、婦人会によるあいさつ運動、飯綱町老人クラブの花壇づくり指導、地域講師によるクラブ活動やPTAサークルの指導、地域団体による読み聞かせなど様々な活動がある。

取材を終えて  
住民の多くが三水地区出身者であるということもあり、PTAと地域に垣根がなく、信州型コミユニティスクールのモデルになるような理想的な学校であると感じた。

- ◇ 広報委員
  - 小林 貴志(上野市)
  - 小林 正和(長野市)
  - 関 耕介(飯伊市)
  - 北澤 宏和(安曇野市)
  - 松澤 千佳(上伊那市)
  - 加藤 好章(大北郡)
  - 谷口 陽治(上高井郡)
  - 堀 紀美子(上高井郡)
  - 外山あけ美(長野市)
- ◇ 新聞編集委員
  - 堀 紀美子(旭ヶ丘小)
  - 小林 美美(塩崎小)
  - 小林 恵美子(吉田小)
  - 西澤 洋子(湯谷小)
  - 井上 亜里(須坂小)
  - 森山 奈々(安曇野小)
  - 宮尾 直貴(碓氷小)
  - 黒岩 直貴(松代小)
  - 小林 朋子(山王小)

給食のイラスト。子どもたちが手を挙げて喜んでいる様子。背景には山と緑の風景が描かれています。

子どもたちのために 公益財団法人 長野県学校給食会 〒381-0103 長野市若穂川田3800番地5 TEL 026-282-6080 FAX 026-282-6535